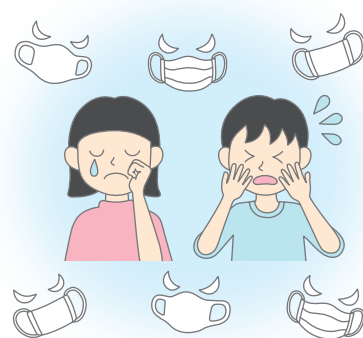


子どもたちの体と心の健康の為に マスクをもう外していきませんか？



多くの子どもたちが長くマスクを外せずに苦しんでいます

多くの子どもたちが長期のマスク使用による様々な健康被害や精神的な悪影響を訴える事例が増えてきています。しかし、子どもたちは周りの目を気にして外したくても外せない状況に陥っています。マスクをしないことで差別やいじめが起きていたり、人に顔を見られたくない、人の息をかけられたくないというような深刻なマスク依存の状況にもなっています。未来ある子どもたちのために、そろそろ次のステップに進みませんか？



現段階でのマスク着用、本当に必要でしょうか？

2022年11月7日 財務省発表
「新型コロナの重症化率等の推移」

年齢別	第7派(BA4.5) (令和4年6月25日～8月21日)		季節性インフルエンザ (平成29年9月～令和2年8月)	
	重症化率	致死率	重症化率	致死率
60歳未満	0.01%	0.004%	0.03%	0.01%
60歳以上	0.14%	0.475%	0.79%	0.55%

2022年11月、重症化率も致死率もインフルエンザを下回ると政府が発表しました。感染は決してゼロにはなりませんが、オミクロン株変異以降、基礎疾患の無い幼児での重症化の報告はありません。私達大人は、子どもたちに間違った感染対策を押し付けているのではないのでしょうか。

マスクの長期・長時間使用は子どもたちの身体の発達と精神への深刻な影響を及ぼしています

ドイツから発表された観察研究「長期のマスク使用による子どもへの影響」

ドイツで調査された研究結果では、幼児期・児童期・思春期を通じての認知能力の発達を分析して「パンデミック中に生まれた子どもは、パンデミック前に生まれた子どもと比較して、言語能力、運動能力、総合的な認知能力が著しく低下している」との結果が示されました。



※参照論文

ドイツ(ヴィッテン・ヘルデッケ大学)
で発表された論文

2020年10月26日までに、ドイツ国内の合計20,353人が調査に参加し、保護者のグループだけで合計25,930人の子どものデータを入力し分析。

全国有志医師の会
「マスクに関する資料一覧」
掲載記事QRコード→



マスク、いつか外せる日が来るの？

子どもたちは、もう3年間以上もマスクを着け続けています。自分の素顔を見せられない。お友達の素顔を見たことない。マスクを外したら、コロナうつって死んじゃうんじゃないの？先生に叱られちゃうし。このままではずっとマスクを外せなくなりかねません。

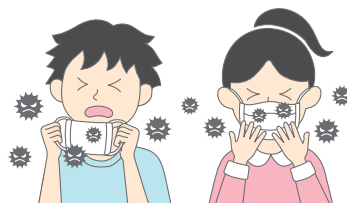


子どもの体・心への影響

マスクを着けることが苦痛な子もいます。マスクをすることで脳への酸素供給低下、イライラや頭痛、集中力の低下、精神不安を引き起こし、学習能力の低下や学校に行きたくない、なんとなく楽しくないなどの事例が増えています。また口呼吸・口ぽかんになりやすく、口臭や歯肉炎、歯並びの悪化を引き起こすことが報告されています。

マスクは雑菌の温床

マスクは咳やくしゃみなどの飛沫を防ぐ効果はありますが、ウィルスを防ぐ効果は余り期待できません。同じマスクを長時間使用することにより、雑菌が増殖し、健康被害を発生させる恐れもあります。同様にマスク着用による接触性皮膚炎・ニキビ悪化も多数報告されています。



日本はマスク着用率、世界1位。でもコロナ新規感染数、世界1位はなぜ？

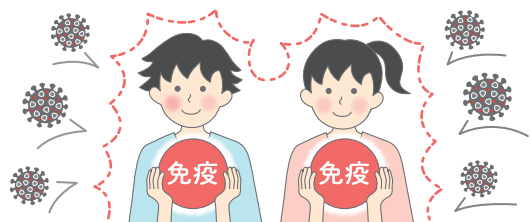
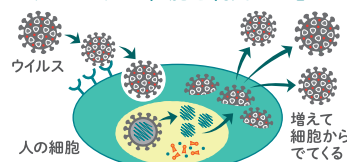
世界の多くの国は半年以上も前に過剰な感染対策を止め、コロナ禍を終わらせてウィルスとの共存へと進んでいます。過剰な感染対策や常時マスク着用は現実世界の大きな集団やパンデミック後では感染予防効果が見られません。

学校の生物
で習う！

感染するのは悪いこと？いいえ、自然界の摂理を思い出してみませんか？

一般感冒ウィルス：インフルエンザ、コロナ、アデノ、ライノ、RS等ウィルスは自己増殖できず、生物(宿主)に感染し、宿主の細胞システムを利用してしか増殖できない。だから宿主を殺してしまうほど強毒だと、自分も生き残れない・・・

ウィルスは人の細胞を利用して増える



感染症はゼロにはならない！

- 弱毒化し、生物と共存できるよう変異していく！
- 宿主 VS 病原菌の、強さバランスがカギ！
- 健康な子どもは負けない！自然界の中で感染を繰り返し、自分の免疫システムで抗体を作っていく！

もう過剰な感染対策は不要、マスク着用は任意で良いと考えます。
子どもたちのために、一日も早く普通の生活を取り戻しませんか？

現在の段階では過剰な感染対策、マスク着用は必要ありません。

過剰な感染対策を止めた国ほど、いち早く集団免疫を獲得し、2019年までの生活を取り戻しています。
マスク着脱は一人一人の自由です。子どもたちの権利をこれ以上大人が制限してはいけません。
着けてる子も外してる子も、認め合い、のびのびと生きられる社会に戻しましょう！

全国有志医師の会のマスク着用に関する推奨方針

- 日常生活では基本的にマスクを着用しない
- 咳など気道症状がある人は、咳エチケットの選択肢の一つとしてマスクを着用する



全国有志医師の会

Volunteer Medical Association

<https://vmed.jp>

全国有志医師の会加盟

医師385人・歯科医師171人・獣医師63人・その他の医療従事者766人 合計1385人 (2023年1月17日現在)

当会ホームページを是非ご覧ください！こちらのQRコードから▶

